



Title	ひとつこと
Author(s)	押田, 訓英
Citation	大阪公衆衛生. 1989, 55, p. 21-21
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/83699
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

ひとこと

堺市環境保健局衛生部次長 押田 訓英

私が当協会の学術部、生活環境部会（当時衛生部会）の幹事になったのは、昭和57年、ちょうど当協会が保健文化賞を受賞した記念すべき年でした。私の職場の上司のミスで、元来のなまけ者を幹事に推せんしたものですから、当時の部会長であった大阪市の藤原課さんをはじめ、歴代の幹事の皆様の足を引っぱりつづけてまいりましたが、いつの間にか7年がたってしまいました。

私の所属した部会では、食監、環監を対象に、施設見学や研究発表会、またパネルディスカッション等々、年に2回程度の事業を計画し実施することでした。限られた予算で中味がこく、しかも会員のみなさんが喜んで参加できる事業を企画するかに、唯一頭を使ったところでした。幸いメンバーに恵まれ常にスムーズにことが運びました。とはいっても、見学する場所や研究会等の会場につきましては会員が参加しやすいところということで、ほとんどが大阪市の幹事さんにお世話になり、まことに恐縮いたしております。

振りかえると、いずれの企画も大変スバラシイものばかりだったと自負いたしておりますが、大阪府・大阪市・東大阪市・堺市とことなった自治体でおなじ仕事をするなかまが一堂に会して交流を図り、熱心な意見交換する光景は、ほんとうに意義深く、幹事としても大変満足の得られるものでした。私自身も協会全体からすれば、一分野での活動でしたが、いろいろな体験や勉強をさせていただきました。心から感謝いたしております。

公衆衛生の問題は今後ますます重要になってまいります。府民の公衆衛生の向上のためますますのご発展を念じています。